

第3次大阪府スポーツ推進計画 の進捗管理について

第3次大阪府スポーツ推進計画の進捗状況

【令和7年度 主要事業一覧】

(令和8年1月末時点)

①事業名	②予算 (千円)	③具体的な施策(事業内容)	④目標	⑤取組実績(成果)	⑥今後の課題等	⑦担当
Iの柱 誰もが地域で楽しむスポーツ・健康づくり						
I ライフステージに応じた機会の提供						
(I)子ども						
■オリンピック・パラリンピアン派遣事業	1,058	貴重な経験を有するオリンピック・パラリンピアンを小学校・支援学校に派遣し、実技指導や講話を通じて、スポーツの楽しさを次世代を担う子どもたちに伝える。	オリンピック・パラリンピアン の派遣:17校程度	オリンピック・パラリンピアン の派遣:16校 ※2月に残り1校予定 ※14名のオリンピック・パラ リンピアン協力	新たな競技の拡充について の検討が必要	スポーツ振興課
■トップアスリート 小学校ふれあい事業	0	府内小学校の授業に大阪スポーツコミッション構成チームの選手等をはじめ、トップ選手、指導者等を派遣し、児童との対話や技術指導等の直接的なふれあいにより、スポーツのすばらしさや感動を共有する。	協力チーム:14チーム、派 遣校数120校、 参加児童数:9,000名	協力チーム:16チーム、派遣校 数106校、 参加児童数:7,088名(予定)	応募多数で選外が生じて いることから、協力チーム及 び派遣校数の拡充を図る。	スポーツ振興課
■府民スポーツ・レクリエーション事業(体力測定会・スポーツ体験会・発表交流会)	3,673	広く府民にスポーツを紹介し、実践する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起する。 (内容) ・発表交流会:広く府民にスポーツ・レクリエーション活動を紹介し、実践する場を提供し、日ごろの成果を発表する。 ・体力測定会:運動を始めるきっかけづくりとして、各種イベントやスポーツ観戦、大型商業施設等の来場者を対象に体カテストを実施。 また、WEBコンテンツ(おうちで体力測定)を活用し、測定結果に基づく運動指導を健康運動指導士等より行う ・スポーツ体験会:専門家の指導により、気軽に取り組める運動やトレーニング方法を体験できる機会を提供する。	体力測定会参加者数: 500名 スポーツ体験会参加者数: 500名 体力測定会+スポーツ体験 会の同時開催で3回程度、 合計4回実施予定(参考: 昨年度10回) 発表交流会参加者数: 1000名(昨年度約800 名) (参考)府民スポーツ・レク リエーション事業への参加 者:2,000名	体力測定会: 全4回実施予定(3回実施済 参加者総数343名)。 スポーツ体験会: 8月5日に大阪府体育研修セ ンター(東大阪市)にて初回を 実施(参加者数27名)。以降、 体力測定会と同時開催で3回 実施予定(2回実施済 参加者 総数248名) 発表交流会: 約4000人(内訳:出演者: 400人 観覧者:3000人 交 流の場体験者600人)	キッズスポーツ体験会の場 所が2年連続東大阪となっ ているため、府全体のス ポーツ振興を考えた場所な どを検討する。	スポーツ振興課
■子ども元気アッププロジェクト事業	929	スポーツイベントの開催やスポーツ教室、水泳授業等を通してトップアスリート等が、子どもたちに直接ふれあい実技指導を行うことで、スポーツへの興味関心をより一層高め、スポーツ・運動が「楽しい・好き」と感じる機会を設けることで、運動習慣の定着を図る。	イベント参加者へのアン ケートによる回答で、肯定的 な回答の割合90%を目標 とする。	9市13校の学校へ水泳のコー チを派遣し、児童に直接指導。 スポーツ教室は193名の参加 があり、アンケートでは、 99.4%の肯定的な回答を得 た。EKIDEN大会へは、現時点 で45チームがエントリーして いる。	今後もより参加者がスポー ツ・運動を楽しみ、好きと感 じるよう、事業の改善に努め ていく。	保健体育課

第3次大阪府スポーツ推進計画の進捗状況

①事業名	②予算 (千円)	③具体的な施策(事業内容)	④目標	⑤取組実績(成果)	⑥今後の課題等	⑦担当
■大阪府立学校部活動指導員配置事業	101,941	専門的な技術指導力を備えた指導者を必要とする学校に配置することにより、部活動の充実を図る。また、単独で生徒引率可能であるため、教員の負担軽減が期待できる。	希望するすべての学校への配置と、生徒が専門的な指導を受ける機会の充実、教員の時間的・精神的負担軽減を図る。	部活動大阪モデル:80校186部 大阪モデル以外:47校67部配置。	令和7年度希望するすべての学校に配置することができなかつたため、希望するすべての学校に配置し、目標達成をめざす。	保健体育課
■社会人等活用推進費	33,087	専門的な技術指導力を備えた外部指導者を必要とする学校に派遣することにより、部活動の充実を図る。	希望するすべての学校に派遣し、生徒が専門的な指導を受ける機会の充実を図る。また生涯にわたる文化・スポーツライフの育成を推進する。	府立学校112校に311名を派遣。	引き続き、希望するすべての学校に派遣することをめざし、生徒が専門的な指導を受ける機会の確保の充実を図る。	保健体育課
■ICT活用による子どもの体力向上事業	1,878	大阪府の子どもの体力・運動能力における状況の改善を図るべく、小学3・4年生を対象にICTを活用した大阪府独自のスポーツテストを実施。実施の前後に体力づくり推進計画(アクションプラン)を作成し、早期に授業改善を図る体制を構築することで体力向上を図る。	全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点において全国平均をめざす。	小学3・4年生において大阪府独自スポーツテストを実施後、体力づくり推進計画(アクションプラン)を作成。各校において授業改善に取り組んだ。「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力合計点は、男子52.00点、女子52.77点だった。(全国平均:男子53.02点、女子53.97点)	令和7年度についても全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点において全国平均を下回っている状況であるため、各市町村においてICTをより有効に活用できるよう周知に努めるとともに、結果を効果的に活用し、PDCAサイクルに基づく体育活動の活性化につなげる必要がある。	保健体育課

第3次大阪府スポーツ推進計画の進捗状況

①事業名	②予算 (千円)	③具体的な施策(事業内容)	④目標	⑤取組実績(成果)	⑥今後の課題等	⑦担当
(2)働き盛り・子育て世代						
■府民スポーツ・レクリエーション事業(体力測定会・スポーツ体験会・発表交流会)【再掲】			【再掲】			スポーツ振興課
■健康寿命延伸プロジェクト事業	121,507	生活習慣の改善や生活習慣病の予防等に向け、府民に取り組んでいただきたい「10の健康づくり活動」として、『健活10(ケンカツテン)』の普及啓発に取り組む。 (内容) ・健活10ソング・ダンスの制作により、健活10の認知度向上を図る。 ・「健活10」ポータルサイトや府政だより(9月健康増進普及月間)等により、広報啓発を行う。	習慣的に運動に取り組む府民の増加を図る。	・大阪・関西万博会場内EXPOホールにて「健活10 EXPO LIVE!」を開催。OSAKA健活10オフィシャルソングの歌唱・ダンスの披露等を実施し、約3,000人が来場。(令和7年7月) ・「健活10」ポータルサイトや府政だより(9月健康増進月間)、ポスター掲示等により、広報啓発を実施した。		健康づくり課

第3次大阪府スポーツ推進計画の進捗状況

①事業名	②予算 (千円)	③具体的な施策(事業内容)	④目標	⑤取組実績(成果)	⑥今後の課題等	⑦担当
(3) 高齢者						
■府民スポーツ・レクリエーション事業 (体力測定会・スポーツ体験会・発表交流会・生涯現役スポーツ賞) 【一部再掲】	3,673	広く府民にスポーツを紹介し、実践する場を提供することにより、スポーツへの参加意欲を喚起する。 (内容) ・生涯現役スポーツ賞：長年にわたりスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、選手や指導者等としてその普及振興を図り、また健康で豊かな生涯スポーツ社会づくりに功績のあった個人・団体に対し贈呈する。	体力測定会参加者数： 500名 スポーツ体験会参加者数： 500名 体力測定会+スポーツ体験会の同時開催で3回程度、合計4回実施予定(参考：昨年度10回) 発表交流会参加者数： 1000名(昨年度約800名) (参考)府民スポーツ・レクリエーション事業への参加者：2,000名	体力測定会： 全4回実施予定(3回実施済 参加者総数343名)。 スポーツ体験会： 8月5日に大阪府体育研修センター(東大阪市)にて初回を実施(参加者数27名)。以降、体力測定会と同時開催で4回実施予定(3回実施済 参加者総数約 248名) 発表交流会： 約4000人(内訳：出演者：400人 観覧者：3000人 交流の場体験者600人) 生涯現役スポーツ賞： 金賞13名、銀賞60名、団体賞19団体、合計92件贈呈 府民スポーツ・レクリエーション事業への参加者： 5,000名予定	高齢社会を迎え、府民スポーツ事業をとおして多世代の交流を図ることは非常に意義のあることなので、今後も内容の充実を図っていく。	スポーツ振興課
■全国健康福祉祭派遣事業	14,673	高齢者を中心とする国民の健康の維持、増進、社会参加、生きがいの高揚等を図り、ふれあいと活力ある長寿社会の形成に寄与する目的に、府内60歳以上の高齢者からなる選手団をねりんピックに派遣する。また、その選手及び作品の選考会の開催を行うとともに、ねりんピックの普及・啓発を行う。	全国健康福祉祭への大阪府代表選手派遣数：120人	派遣選手数：103名	参加者が減少しており、SNSやHPを活用して、広報の強化を図る必要がある。	介護支援課
■健康寿命延伸プロジェクト事業			【再掲】			健康づくり課

第3次大阪府スポーツ推進計画の進捗状況

①事業名	②予算 (千円)	③具体的な施策(事業内容)	④目標	⑤取組実績(成果)	⑥今後の課題等	⑦担当
2 障がい者スポーツの推進						
■オリンピック・パラリンピアン派遣事業【再掲】			【再掲】			スポーツ振興課
■府立障がい者交流促進センター・府立稲スポーツセンターの運営	障がい者交流促進センター運営費 218,037 稲スポーツセンター運営費 44,254	・広域的・専門的な立場から、府立障がい者交流促進センター(ファインプラザ大阪)や府立稲スポーツセンターを運営し、今後の障がい者スポーツを牽引していく選手の養成や、障がい者スポーツの支援や振興を担う人材の養成・派遣を行うなど、競技力の向上と裾野拡大を図る。	各施設ともに少しでも多くの方に利用してもらうように、積極的に事業等を周知し、障がい者スポーツの推進を図る。	令和6年の利用者実績 ・FPO:140,991名 ・稲:28,586名 (前年比+7923) 令和7年度の事業数(予定値) ・FPO:11競技21大会、練習会体験会等1385回 ・稲:2大会、練習会体験会331回	福祉施設であることから、障がいのある方を優先して使用することができるシステムを維持しつつ、誰もが安心して使用できる共用型の良さを活かした時間帯・空間の確保が課題。	自立支援課
■大阪府障がい者スポーツ大会開催事業	障がい者交流促進センター運営費 218,037の内数 6,611	・障がい者スポーツの競技性や障がい者一人ひとりの競技力の向上と裾野拡大を図るため、競技スポーツの祭典である大阪府障がい者スポーツ大会を開催する。	大会参加者数:1,000人	大会参加者数 個人競技:761名 団体競技:88名 合計 849名 (前年比+8)	コロナウイルス感染症拡大により参加者数は一時減少したが、近年は徐々に回復している。引き続き、参加者数の増加について、市町村や学校となっていると連携していく。	自立支援課
■全国障害者スポーツ大会への選手団の派遣	障がい者交流促進センター運営費 218,037の内数 15,503	・大阪府障がい者スポーツ大会の成績優秀者等について、強化練習等の支援を行うとともに、全国障害者スポーツ大会に大阪府選手団として派遣する。	大阪府選手団が個々の力を十分に発揮できるように、強化練習会等の支援を行う。	強化練習会を各競技5回実施。選手93人、役員56人わたSHIGA輝く2025へ派遣。選手団として過去最高タイ合計110個のメダルを獲得	指導者を派遣いただく各競技団体の協力を仰ぎながら、選手に安心して強化練習会や大会に参加いただけるよう、引き続き密な連携を行う。	自立支援課
■大阪府障がい者スポーツ推進会議	0	支援教育課、保健体育課、スポーツ振興課、自立支援課、各障がい種を代表する府立支援学校校長、ファインプラザ大阪、稲スポーツセンター職員、大阪府障がい者スポーツ協会等で構成し、大阪府内における障がい者スポーツ活動の普及・推進を図り、障がい者の社会参加の促進に寄与するとともに、大阪府立支援学校におけるスポーツ活動の普及・推進を図り、障がいのある幼児・児童・生徒の健全な発達と社会参加の促進等について協議・情報共有の場として開催している。	・実施回数:年1回	令和8年2月5日開催(オンライン)予定	支援学校における障がい者スポーツの状況を把握することで、行政として支援できることを検討し、関係部署、所管施設等と連携することが課題。	自立支援課

第3次大阪府スポーツ推進計画の進捗状況

①事業名	②予算 (千円)	③具体的な施策(事業内容)	④目標	⑤取組実績(成果)	⑥今後の課題等	⑦担当
3 スポーツの習慣化と健康づくり						
■府民スポーツ・レクリエーション事業(体力測定会・スポーツ体験会) 【再掲】			【再掲】			スポーツ振興課
■運動・スポーツ習慣化促進事業	12,360	ウォーキングフットボールに取り組むことで、「歩く」という日常の動作が意識次第で運動効果のあるスポーツ(ウォーキング)になることを体感してもらい、仕事や家事が忙しく、スポーツジムに通ったり競技スポーツに参加することが難しい働き盛り世代・子育て世代の女性を中心に、事業を通じて運動・スポーツ習慣化促進を図る。	「気軽に」「安全安心に」運動・スポーツを楽しむことにより、運動・スポーツが習慣化され、府民一人ひとりが健やかに生き生きとした生活を送ることを本事業の最終目標とする。 具体的には、令和6年度の成人の週1回以上のスポーツ実施率は、51.8%と全国平均の52.3%を下回っており、国の目標と同レベルの「70%」を令和8年度末にめざす。	不採択により未実施	事業内容等の再検討	スポーツ振興課
■健康寿命延伸プロジェクト事業			【再掲】			健康づくり課
■健康づくり支援プラットフォーム整備等事業	569,840	府民の健康づくりに対する意識の向上と実践を促すことを目的に、ポイント還元を活用した健康づくり事業を実施するためのICT基盤(プラットフォーム)を整備し、府民向けサービスとして「おおさか健活マイレージ アスマイル」を展開し、府民への普及を図る。	健康アプリ「アスマイル」の参加人数:70万人(令和7年度末時点)	健康アプリ「アスマイル」の参加人数:約50万人(令和8年1月末時点)		国民健康保険課
■全国健康福祉祭派遣事業【再掲】			【再掲】			介護支援課
■大阪府スポーツ推進委員協議会	0	市町村が委嘱するスポーツ推進委員の資質向上のため、研修等の充実をはかり地域でのスポーツ振興を「ささえる」人材の育成を支援する。	スポーツ推進委員の資質向上及び、地域での活動について発信し、認知度を高め府民のスポーツ参画を促す。	9月13日(土)の府研修会には、373名が参加し、8月2日(土)の府初任者研修会には、43名が参加した。	研修会等を通じて、スポーツ推進委員の資質の向上を図るとともに、スポーツ推進委員の認知度を高める。	保健体育課

第3次大阪府スポーツ推進計画の進捗状況

①事業名	②予算 (千円)	③具体的な施策(事業内容)	④目標	⑤取組実績(成果)	⑥今後の課題等	⑦担当
4 地域でスポーツを楽しむ環境づくり						
■スポーツボランティア養成及び派遣事業	436	スポーツを支えるボランティアの資質向上と新たな人材の育成のため、研修会の実施、府内スポーツイベントへのボランティア派遣等を実施する。	大阪府登録スポーツボランティアの派遣:10事業 ボランティア研修会:1回	大阪府登録スポーツボランティアの派遣:12事業予定(10事業実施) 派遣者合計180名予定 ※昨年度派遣者121名、10事業実施 ボランティア研修会:1回実施 予定(2月15日)	会員の高齢化(平均年齢75歳)のため、今後の組織の在り方を検討していく。	スポーツ振興課
■大阪府立学校部活動指導員配置事業【再掲】			【再掲】			保健体育課
■社会人等活用推進費【再掲】			【再掲】			保健体育課
■大阪府スポーツ推進委員協議会【再掲】			【再掲】			保健体育課
5 スポーツコミッションによる生涯スポーツの推進						
■大阪スポーツコミッション[OSAKA SPORTS PROJECT]事業(生涯スポーツの振興)	0	大阪スポーツコミッション(OSAKA SPORTS PROJECT)構成チームの主催試合や市町村、民間企業等と連携したスポーツイベントにおいて、スポーツ体験会などスポーツを楽しむ機会を提供。	トップスポーツチームとの連携によるイベントの実施数:30回以上	トップスポーツチームとの連携によるイベントの実施数:43回		スポーツ振興課
■観戦優待事業	0	在阪スポーツチーム等の協力により、チーム主催試合の優待観戦を行い、スポーツ観戦(「観る」)を通じて、府民にスポーツを楽しむことができる機会を提供する。	応募者数5,000人	応募者数:4,703人(1月末時点、R7.12~R8.3実施分については集計中)	SNS等の活用による効果的な広報を検討する。	スポーツ振興課
■トップアスリート小学校ふれあい事業【再掲】			【再掲】			スポーツ振興課

第3次大阪府スポーツ推進計画の進捗状況

①事業名	②予算 (千円)	③具体的な施策(事業内容)	④目標	⑤取組実績(成果)	⑥今後の課題等	⑦担当
2の柱 成長するスポーツで楽しいまちづくり						
1 様々な形のスポーツツーリズムの推進						
■スポーツツーリズム推進事業	179,923	大阪府が事務局を担っている大阪スポーツコミッション(OSAKA SPORTS PROJECT)を中心にトップスポーツの試合と様々な「する」スポーツ、「みる」スポーツを体感できる大規模なスポーツイベントを3日間開催し、大阪への誘客と大阪の経済成長を図る。 また、将来スポーツビジネスを志す学生等に、イベントの企画・運営を学びの場として提供することで、人材育成を図る。	誘客人数:60,000人	来場者:51,000人	事業実施に係る周知活動および来場者が感じられる特別感・非日常感の創出	スポーツ振興課
■マラニックイベントによるスポーツツーリズム推進事業	35,412	大阪・関西万博のレガシーとして、大阪が有するスポーツ資源(南河内サイクルライン)を活かしたフルーツマラニックイベントを南河内地域で開催し、地域の魅力発信を行うことでスポーツツーリズムによる府内外からの誘客促進を図る。イベント会場ではマラニックだけではなく、スタート・ゴール地点にスポーツ体験コンテンツのほか、地元農産品等を提供するコーナーや都市魅力発信ブース、キッチンカー等を設置し、ランナー以外のイベント参加者も会場で楽しめるコンテンツを提供する。	集客目標:800人 【内訳】 ランナー:500人 その他集客:300人	集客実績:843人 【内訳】 ランナー:484人 (エントリーは529名) その他集客:359人	イベントの実施によって得られたノウハウや効果を踏まえ、府内市町村や民間への移行を探りながら府域全体に本事業の事業効果が波及するように取組みを継続していく。	スポーツ振興課
■大規模スポーツ大会の誘致等に関する調査事業	10,500	大規模スポーツ大会の誘致、開催に必要な支援内容を調査分析し、課題を把握するとともに今後の取り組むべき支援の方向性を検討、整理する。	大規模スポーツ大会の誘致、開催にかかる支援制度の整備	大阪府の現状を捉える「現状分析」と競技団体、国内の他の自治体を対象とした「事例調査」をもとに課題等の整理・分析を行い、3月に最終報告を受ける予定。 ※9月に中間報告実施済み	大規模スポーツ大会の誘致、開催にかかる支援制度の制度設計	スポーツ振興課

第3次大阪府スポーツ推進計画の進捗状況

①事業名	②予算 (千円)	③具体的な施策(事業内容)	④目標	⑤取組実績(成果)	⑥今後の課題等	⑦担当
2 スポーツコミッションによる活力あるまちづくりの推進						
■大阪スポーツコミッション[OSAKA SPORTS PROJECT]事業(スポーツツーリズムの推進)		府内トップスポーツチーム、スポーツ団体、経済団体等が一体となった大阪スポーツコミッション(OSAKA SPORTS PROJECT)により、スポーツ資源を活用し、スポーツを楽しむ機会を提供するとともに活力あるまちづくりに向けて、スポーツツーリズムの推進に取り組む。	【再掲】トップスポーツチームとの連携によるイベントの実施数:30回以上	【再掲】トップスポーツチームとの連携によるイベントの実施数:43回		スポーツ振興課
■大阪スポーツプロジェクト推進事業		府内トップスポーツチーム、スポーツ団体、経済団体等が一体となった大阪スポーツコミッション(OSAKA SPORTS PROJECT)により、スポーツ資源を活用し、スポーツを楽しむ機会を提供するとともに活力あるまちづくりに向けて、スポーツツーリズムの推進に取り組む。	OSP構成チームを活用したスポーツの魅力発信及びスポーツを通じた来販者の獲得	令和7年10月17日～19日に開催したスポーツツーリズム推進事業「OSAKA FUNtastic SPORTS PROJECT」において、OSP構成チームを活用し、特別試合の開催やアスリートのトークショー、パフォーマンス等ステージイベントを実施した他、スポーツ体験会を行うなど、スポーツを楽しむ機会の創出やスポーツツーリズムの推進に取り組んだ。※実績については現在精査中		スポーツ振興課
3 産業連携・技術活用による成長するスポーツづくり						
■健康産業創出支援事業		健康寿命延伸産業分野での新事業の創出支援のため「大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム(OKJP)」を設置し、健康関連事業を実施する事業者の取り組みを、産学官が連携してサポートする。	先進的な新事業の発掘	大阪ヘルスケアビジネスコンテスト2025を実施 応募プラン数:35件		産業創造課

第3次大阪府スポーツ推進計画の進捗状況

①事業名	②予算 (千円)	③具体的な施策(事業内容)	④目標	⑤取組実績(成果)	⑥今後の課題等	⑦担当
4 人とまちを活用するスポーツイベントの展開						
■大阪マラソン開催事業	90,000 ※府市同額	大阪マラソンは、参加ランナーが大阪の名所を駆け抜け、大阪の元気や都市魅力を国内外に発信する新しい「お祭り」として2011年にスタートした。 その後2022年2月27日開催の第10回大会から「びわ湖毎日マラソン」と統合し、それまでの市民マラソンとしての面に加え、トップランナーも参加する競技マラソンとしての機能を併せ持つ大会となった。 今後、さらなる魅力づくりに取り組むとともに、大会の国際化を推進することにより、世界トップレベルの市民マラソンをめざす。	・海外ランナーのエントリー数：10,000人以上。	現時点で海外ランナーのエントリー数は約13,000人である。 本年2月の大会開催に向けて、ランナーに満足していただける大会になるよう、準備を進める。		スポーツ振興課
■ワールドマスターズゲームズ関西	0	2027年5月開催の生涯スポーツの祭典「ワールドマスターズゲームズ2027関西大会」に向けて、組織委員会や府内競技開催市と連携し、開催競技に係る準備を進めるとともに、イベント等での啓発活動等を実施し、大会の機運醸成を図る。	大会組織委員会や府内競技開催市と連携し、イベント等での啓発活動などにより、大会の機運醸成を図る。	・府内市町村等へポスター等を送付 ・公式キャラクター缶バッジの作製及び配布		スポーツ振興課
スポーツ施策の推進体制等の強化(情報発信の強化)						
■スポーツ情報発信事業	0	HPやSNS等を使ったスポーツ情報発信により、大阪を訪れる国内外の観光客に対し、試合情報やスポーツ体験等のスポーツ情報を広く発信することでスポーツツーリズムの推進につなげる。	セッション数：10,000件/月 (SPORTS OSAKA)	セッション数：13,853件/月 (SPORTS OSAKA)		スポーツ振興課

第3次大阪府スポーツ推進計画の“指標”の進捗状況

◆20歳以上の週1日以上の運動・スポーツ実施率・・・目標70%

国の第3期スポーツ基本計画において、「20歳以上の週1回以上のスポーツ実施率が70%になること・・・を目指す」と定められていることから、本府の現在の実施率も考慮し、国と同レベルである「70%」を目標値として設定する。

◆「する・みる・ささえる」のいずれかに参画した人の割合・・・目標100%

国の第3期スポーツ基本計画には同指標の目標値は定められていないが、類似する「20歳以上の年1回以上のスポーツ実施率が100%に近づくこと・・・を目指す」と定められていること、また、「する」「みる」「ささえる」のいずれかに参画することが「well-being(ウェルビーイング)」の実現にも繋がっていることを考慮して、スポーツ参画者の割合を指標として、「100%」を目標値として設定する。

<指標に対する実績推移>

指標		第2次大阪府スポーツ推進計画	第3次大阪府スポーツ推進計画		
		R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
20歳以上の週1日以上 の運動・スポーツ実施率	大阪府	57.4%	53.1%	50.6%	51.7%
	全国	56.4%	52.3%	52.0%	52.5%
「する・みる・ささえる」の いずれかに参画した人の割合(※)	大阪府	90.1%	89.8%	87.3%	79.4%
	全国	90.5%	89.9%	87.8%	80.6%

(※)「する」「みる」「ささえる」について年1回以上参画した人の割合を集計。

- ▶「20歳以上の週1日以上

の運動・スポーツ実施率」は51.7%であり、現行計画策定時より5.7ポイント低下し、また、全国の52.5%より0.8ポイント下回った。

- ▶「する・みる・ささえる」のいずれかに参画した人の割合は79.4%であり、現行計画策定時より10.7ポイント低下し、全国より1.2ポイント下回った。

第3次大阪府スポーツ推進計画の“参考指標”の進捗状況及び学校部活動の地域移行の取組状況

計画の進捗状況をモニタリングするために、下記の指標を参考指標として設定。また、学校部活動の地域移行は、地域における子どもたちの新たなスポーツ環境を構築するため、国の動向を注視しつつ、市町村の取組の進捗状況を把握し、成果の普及を図り、必要な指導助言を行っていくこととしている。

参考指標	R4年度	R5年度	R6年度
① 体育の授業が楽しい小学生の割合	90%	90.5%	90.5%
② 大阪府障がい者スポーツ大会における参加者数	779人	829人	841人
③ 「大阪府障がい者スポーツ応援団長関本賢太郎」Facebookのフォロワー数	202人	213人	242人
④ 大阪府にゆかりのある主なスポーツチームの年間主催試合での観戦者合計数	2,177,079人	3,229,935人	3,522,018人
⑤ 「スポーツ大阪」へのセッション数	5,842	9,087	11,856
⑥ 大阪スポーツプロジェクト公式SNS (Twitter・Instagram) のフォロワー数	Twitter 792人 Instagram 714人 (R5.1.13現在)	X (Twitter) 2,232人 Instagram 2,000人 (R6.3.18現在)	X (Twitter) 2,659人 Instagram 2,596人 (R7.3.1現在)
⑦ 大阪府ではスポーツが盛んだと思う人の割合	42.6%	44.9%	38.8%
⑧ この一年間にスポーツボランティア活動をしたことがある人の割合	5%	5.4%	5.9%
⑨ ワールドマスターズゲームズ2021／2027関西の認知度	15.5%	23.1%	13.6%
⑩ 大阪マラソンの外国人エントリー数	727人	6,965人	8,894人

取組状況	R5年度	R6年度
地域スポーツクラブ活動体制整備事業(国庫委託事業)活用市町村数	5市	10市
中学校における部活動指導員の配置支援事業(国庫補助事業)活用市町村数	22市町190人	25市町225人

- ▶ 第3次大阪府スポーツ推進計画策定以降、参考指標は全体的に上昇傾向。
- ▶ 一方で、「大阪府ではスポーツが盛んだと思う人の割合」及び「ワールドマスターズゲームズ2027関西の認知度」は減少傾向。